

令和4年度 筑豊地区中学校新人体育大会 剣道大会 要項

主催 筑豊地区中学校体育連盟
遠中地区各市町教育委員会
主管 遠中地区中学校体育連盟

1 日 時

令和4年10月30日（日）

開 場 7時30分
学校受付 8時00分
開 会 式 9時00分
競技開始 9時20分

2 会 場

岡垣町民武道館（岡垣町野間南4-1）

TEL 093-282-1211

3 参加資格

- 筑豊地区中学校新人体育大会開催基準及び『特別規定』による。
- 引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校の教育職員（部活動指導員を含む）とする。ただし、教育職員（部活動指導員を含む）以外のコーチは、学校長が認め、筑豊地区中体連に登録し承認を受けた者とする。

4 参加制限

		嘉飯	田川	遠中	直鞍	合計
団 体	男子	3	1	3	1	8
	女子	3	1	3	1	8

5 表 彰

男女とも3位までを表彰する。

6 県大会出場資格

男女ともに4位以内は、12月10日（土）福岡市民体育館にて行われる県新人大会の出場資格を得る。

尚、県大会出場資格を得たチームは県大会に参加する義務を負う。

7 申し込み

選手登録は、筑豊地区専門部長より各地区専門部長へ選手名簿をメールで送る。それを専門部長が出場校のメールアドレスに送る。出場校の顧問は名簿に記入し、下記のメールアドレスへ10月24日（月）までに返送する。

専門部長メールアドレス ashichu@ashichu.town.ashiya.fukuoka.jp

8 各地区専門部長

地区	氏 名	学校名	学 校 住 所	TEL	FAX	専門部長
田川	早麻三千子	赤 池	〒 822-1103 福智町市場 336	0947-28-2117	0947-28-5446	
直鞍	赤星 マミ	直方二	〒 822-0002 直方市頓野 4082	0949-26-0657	0949-26-0659	
遠中	今川嘉津麿	芦 屋	〒 807-0113 芦屋町中ノ浜 10-74	093-223-0058	093-223-0511	○
嘉飯	松尾 甚汰	二 瀬	〒 820-0053 飯塚市伊岐須 740	0948-22-0388	0948-22-0455	

9 出場制限

団体戦の選手は、男女とも3～5名、補員2名とする。3名の場合は次鋒と副将を、4名の場合は次鋒を空ける。

10 競技規則

全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則」「同細則」及び「剣道試合・審判運営要領」並びに、本大会申し合わせ事項により競技を行う。申し合わせ事項とは、筑豊地区剣道専門部会における確認事項および「主催大会にあたっての感染拡大予防ガイドライン」「新型コロナ

ウイルス感染症が収束するまでの暫定的な剣道試合審判法」をいう。

11 競技方法

男女とも4校ずつ、2パートによる予選リーグを行い、各パート上位2校による決勝トーナメント制で行う。

12 試合規則、申し合わせ事項

- (1) 申し込み後のオーダーの変更は認めない。メンバー変更は下記の通りとする。
 - ① 各試合開始前に監督が審判主任に申し出る。
 - ② 一度欠場した選手は再出場できない。
- (2) 予選リーグは、3分間三本勝負。時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。大将戦を終えて勝者数、取得本数が同数の場合は任意の代表者による決定戦を時間を区切らずに一本勝負で行う。
- (3) 予選リーグでの順位決定については、次のとおりとする。
 - ① 学校単位の勝数 ② 勝者数 ③ 取得本数 ④ 直接対決
- (4) 決勝トーナメントは、3分間三本勝負。時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。大将戦を終えて勝者数、取得本数が同数の場合は、任意の代表者による決定戦を時間を区切らずに一本勝負で行う。
- (5) 決勝トーナメントにおいて学校単位の勝敗が決定した後の試合においては、延長戦は行わない。
- (6) その他
 - ① 竹刀は、1 m 14 c m以内とし、重さは、男子 440 g 以上、女子 400 g 以上とする。竹刀の先端部分の直径は、男子 25 mm以上、女子 24 mm以上とする。竹刀先革の長さは 50 mm以上とする。
 - ② 面ひもの長さは、結び目から 40 c m以内を厳守する。長い場合には試合の前後で切る。
 - ③ 「変形な構え等の防御姿勢」をとった場合には、1回目を「合議」の上「指導」、2回目以降は「合議」の上「反則」とする。
 - ④ 面乳革は、大きさ・模様を含めて華美でないものとし、色は黒または紺のみとする。
 - ⑤ 柄革に滑り止め（ゴム等）や模様をついた竹刀の使用を禁止する。
- (7) 各学校の校則を遵守し、大会に参加すること。学校長の責任の下に大会参加生徒の服装・身なりについて指導の徹底を図る。マナーチェックを競技開始前までに実施する。問題等がある場合は、各顧問が責任を持って試合前までに指導する。

13 組み合わせ

【男子団体戦】

<男子予選リーグ>

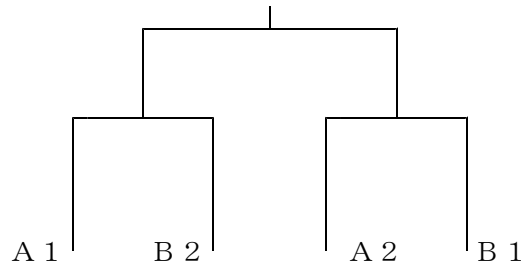
Aパート

嘉 飯 1位
遠 中 1位
嘉 飯 2位
遠 中 3位

Bパート

直 鞍 1位
田 川 1位
遠 中 2位
嘉 飯 3位

<男子決勝トーナメント>



【女子団体戦】

<女子予選リーグ>

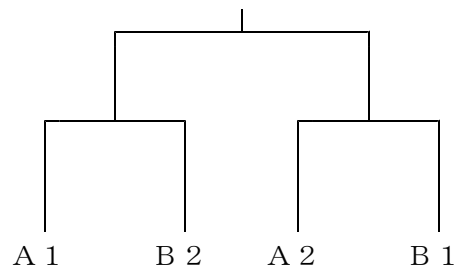
Aパート

遠 中 1位
直 鞍 1位
遠 中 2位
嘉 飯 3位

Bパート

田 川 1位
嘉 飯 1位
嘉 飯 2位
遠 中 3位

<女子決勝トーナメント>



14 感染症に対する対応について

- (1) 「筑豊地区中学校体育大会開催に向けた感染拡大防止ガイドライン」に準じて大会を行う。
- (2) 大会当日、選手・引率者は「大会当日体調記録表」を、その他の来場者に関しては「来場者体調記録表」を提出する。

- (3) 朝自宅で検温し、発熱がある場合には様子をみる。自宅からマスクを着用するとともに剣道着・袴に着替えてから会場へ行く。
- (4) 会場に手指消毒液を設置し、手指を消毒する。
- (5) 随時、出入口や窓を開けるなど十分な換気を行う。
- (6) 選手は全員、「面マスク」や「面フェイスシールド」などの飛沫感染防止グッズを着用する。
- (7) 監督やコーチが選手に指示やアドバイスを送る場合には極力、大会事務局が準備する大きめのホワイトボードにホワイトボードマーカーで記入して意思疎通を図る。
- (8) 審判員、運営スタッフ、試合に出ていない選手、応援の保護者はマスクを着用する。選手も試合中以外では着用する。
- (9) 試合前後の円陣や握手、グータッチ、ペアでストレッチなどの身体接触をしない。
- (10) 大声は出さず、近距離での会話や発声が極力行われないようにする。人と人と距離はできるだけあけて対面としないようにする。
- (11) ミーティングなどの密集、密接した環境を作らない。
- (12) 個人で使用する道具（水筒やタオルも含め）は、自分の分だけ触る。誰かがまとめて運ばない。荷物も他の人の荷物と触れたり、まざったりしないようにする。
- (13) 給水用のボトルやコップ、タオル等は共用しない。チームでのジャグタンクやウォーターサーバーなどの共有も禁止する。ドリンクはすべて自分で準備する。
- (14) 会場内では自動販売機付近をはじめ、一部の空間に長時間滞留をさせない。
- (15) 開閉開式は簡素化し、短時間かつ間隔をあけた状態で行う。生徒補助員の人数は極力縮小したり、省いたりする。運営でも役割を決めて極力同じ人が同じ仕事をする。
- (16) 大会後に保健所などから利用者情報を求められることも想定されるので、参加した生徒や役員、保護者などの情報を出せるようにしておく。
- (17) 大会終了後も会場入口周辺や玄関口、駐車場等での密集が起こらないようにすみやかに解散するなど各校で配慮する。
- (18) 応援は、登録選手1名につき1名程度と制限する。

15 その他

- (1) 監督は、本大会要項・申し合わせ事項・競技上の注意・会場使用上の注意やマナーについて、その関係するすべての生徒・保護者を含む大会参加者に周知徹底させる。
- (2) AEDは入口横管理室に設置している。